

学校名	指導者
東京都 D 小学校	S 先生

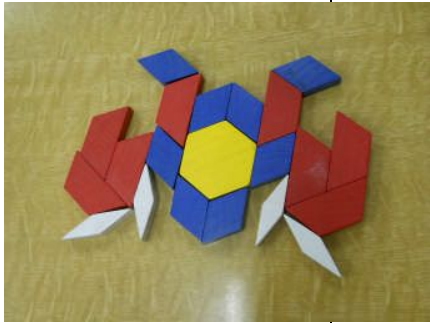
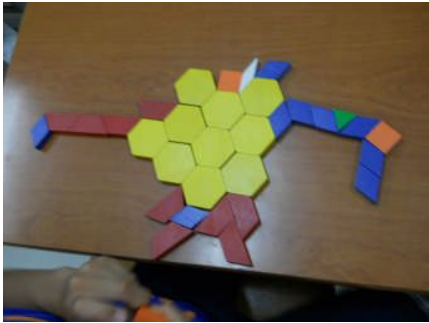
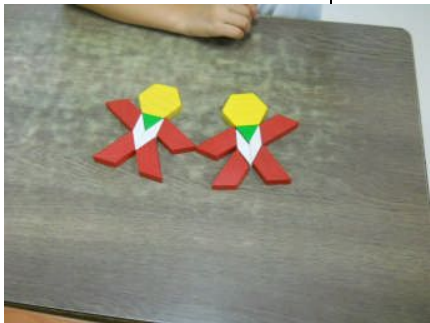
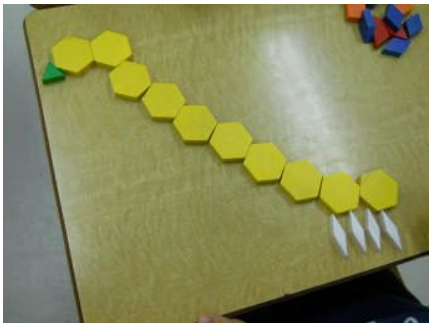
<活用内容>


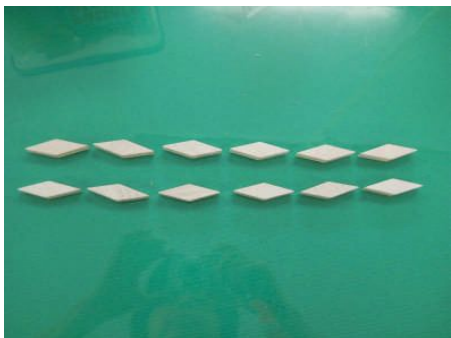

- 1、学年 1年
- 2、単元 「10よりおおきいかず」
- 3、ねらい ・20までの数の数え方、唱え方を理解する。


<パターンブロックをを利用するねらい>
 「10より大きい数」の学習の導入に当たり、パターンブロックにより自由に好きなものを作らせる活動から、楽しみながら10より多いパターンブロックの数を数える活動へ進められるようにした。

4、学習の流れ

(平成23年7月7日実施)

	指導内容	児童の反応
10	<p>1、パターンブロックを使って好きなものを作ろう。</p>    	<ul style="list-style-type: none"> ・パターンブロックにどんな形があるか、いろいろな形を出してみる。 ・机の上に、模様を作ったり、好きなものの絵を作ったりし始める。
	<p>2、パターンブロックをいくつか使ったか、数えてみよう。</p> <p>黄色いブロックをいくつか使ったか、数えてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・えー、みんな数えるの？ ・黄色いのを10こ使ったよ・・・ ・10個 ・16個 19個

<p>15</p>	<p>* ブロックに名前を付けよう。 * それぞれの数を数えてみよう。</p>	<p>黄色・・・はちのすがた ・ 2個 ・ 7個 ・ 10個 ・ 13個 赤・・・スカートがた ・ 13個 ・ 19個 青・・・ダイヤがた ・ 4個 ・ 3個 オレンジ・チーズがた ・ 1個 ・ 8個 ・ 16個 ・ 18個 白・・・ほそながダイヤ ・ 7個 ・ 17個 ・ 10個 12個 緑・・・やまがた ・ 1個 ・ 2個 ・ 6個</p>
	<p>4, お花の模様は、ほそながダイヤがいくつでできているでしょう。</p> <p>数え方を発表しましょう。</p> <p>・ きれいに並べて、 1, 2, 3, ... と数えたら、12とわかりました。</p> <p>・ 二つずつくっつけて、 2, 4, 6, 8... と数えたら12でした。</p>	  

15	<p>・ 5 と 5 で 10 だから、 10 と 2 で 12 と わかり ました。</p>	
5	<p>5 , 10 より大きい数は、い ろいろな数え方で数えられ ることがわかった。</p>	

5、児童の反応

<指導のポイント>

パターンブロックで、自由に形作りを楽しませる。

- * いろいろな形があることに気がつく。
- * 形によって色が違うことに気がつく。
- * 辺の長さが同じで、きれいに並べられることに気がつく。

「 ちゃん、黄色いのをたくさん使っているね」などの言葉かけによって、児童の目を数に向けさせる。

それぞれの形ごとに名前を付けながら、楽しんで数を数えさせる。

- * 生活の中から、ブロックの形に似たものを考える。
- * 自然に 10 以上の数も数える。

同じ形を 10 以上使ってできた形を例にとり、10 以上の数についての数の意味を理解させる。

< 教具としてのパターンブロックの良さ >

- ・ 色がはっきりしていて、美しく、児童の意欲を高めた。
- ・ 厚みが適当にあり、操作しやすい。木製の感触の良さ。
- ・ 二人で 1 セットを使用した。数が十分にあって操作しやすかった。

< 改善点 >

- ・ 好きなものを作って動かさずに数えたため、数えにくかった。最後に種類ごとに並び替えて、数の確認をしながら学習のまとめをするとよかった。
- ・ 2 人で机を合わせて行ったが、みんなで一緒に数える場面が作りにくかった。実物投影機などを利用するとよかった。
- ・ 教師用のパターンブロックの数がもう少しあるとよかった。